

川内沢ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場 規約

(名称)

第1条 本会は、「川内沢ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」（以下、「検討の場」という。）と称する。

(目的)

第2条 検討の場は、検討主体（宮城県）による川内沢ダム建設事業の検証に係る検討を進めるに当たり、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき、検討主体と関係地方公共団体において相互の立場を理解しつつ、検討内容の認識を深め検討を進めることを目的とする。

(検討の場)

第3条 検討の場は、別紙－1で構成される。

- 2 必要に応じ、検討の場の構成は変更することができる。
- 3 検討主体は、検討の場を招集し議題の提案をするとともに、検討主体の行う検討内容の説明を行う。
- 4 構成員は、検討の場において検討主体が示した内容に対する見解を述べる。
- 5 構成員は、検討の場の開催を検討主体に要請することができる。
- 6 学識経験者は、検討の場において検討主体が示した内容及び内容に対する見解について助言することができる。

(情報公開)

第4条 検討の場は、原則として公開する。

- 2 検討の場に提出した資料等については、会議終了後に公開するものとする。ただし、稀少野生動植物種の生息場所等を示す資料など、公開することが適切でない資料等については、検討の場の構成員の過半数以上の了解を得て非公開とすることができる。
- 3 その他、公開の方法は別途定める。

(事務局)

第5条 検討の場の事務局は、宮城県土木部河川課に置く。

- 2 事務局は、検討の場の運営に関して必要な事務を処理する。

(規約の改正)

第6条 この規約を改正する必要があると認められるときは、検討の場で協議する。

(その他)

第7条 この規約に定めるもののほか、検討の場の運営に関し必要な事項は、検討の場で協議する。

(附則)

この規約は、平成24年3月29日から施行する。

【別紙—1】

「川内沢ダム建設事業の関係地方公共団体からなる検討の場」の構成（案）

【構成員】

名取市長

岩沼市長

【検討主体】

宮城県知事

【学識経験者】

東北大学大学院工学研究科 教授 真野 明

東北大学大学院工学研究科 教授 田中 仁

(注) 構成員および検討主体については、代理出席を認めるものとする。